おもちゃの図書館 全国情報

トイ・ポスト

No.112

平成25年3月25日発行/おもちゃの図書館全国連絡会 〒103-0028 東京都中央区八重洲1-6-2 八重洲一丁目ビル8階
電話 03-3272-0072 Fax03-5299-9011 E-mail:renrakukai@toylib.or.jp HP:http://www.toylib.or.jp./renrakukai/

おもちゃ図書館ボランティアリーダー

TOYらいぶらりあん養成講座

昨年度スタートした「ＴＯＹらいぶらりあん養成講座」が今年度も実施されました。今年はこれまでの初級修了者の方むけに、初めて中級講座も開かれました。ＴＯＹらいぶらりあんは、図書館でいう司書のような役割と考えていますが、決して専門家育成が目的ではなく、おもちゃ図書館は誰でも参加できる「ボランティア活動」であり、その活動をより良いものへとリードする「ボランティアリーダー」の役割を担っていただきたいという思いを込めています。

受講後のアンケートからも、この講座への期待が大きいことがうかがわれます。今後もさらにたくさんの方にご参加を頂き、日頃のおもちゃ図書館活動をさらに活発に、継続していけますよう内容の充実にむけ工夫を重ねていきたいと思います。

【初級に参加して】

１月 19 日、北海道、福島、京都などから参加の方も含め、30 人余が集合されたこの日、会場は静かな熱気に包まれていました。「おもちゃ図書館の歴史と意義」「他の福祉団体や財団との関わり」に始まり、障害のあるなしにかかわらず『遊び』が子どもの成長にいかに大切か、事例紹介とともにお話いただきました。東京ボランティア・市民活動センター山崎所長のボランティア論、そして、おもちゃや遊びについて語る高村先生の優しいお顔もとても印象的で、伺っている私たちも楽しい気持ちでいっぱいになりました。

この日のお話をもとに、今後はおもちゃ図書館にいらっしゃるお母さんたちにきちんと説明できそうです。次回はぜひ「TOY らいぶらりあん」中級を受け、いっしょにボランティアをしている仲間にも、ぜひ初級からの受講をお勧めしたいと思います。（吉祥寺おもちゃ図書館ミニ　藤井 美里）

（初級）1 日 4 講座、頑張りました！

（中級）学びの多かった「傾聴」講座

TOY らいぶらりあん養成講座（初級）

日時：２０１３年1月１９日（土）
１０：００～１５：３０
会場：東京ボランティア市民活動センター
参加者：３４名

≪講座内容≫

講座Ⅰ　おもちゃ図書館の歴史と意義
小泉康代氏
講座Ⅱ　ボランティア論　山崎美貴子氏
講座Ⅲ　おもちゃと遊び　高村豊氏
講座Ⅳ　障害のある子どもの発達と遊び
峯島紀子氏

TOY らいぶらりあん養成講座（中級）

日時：２０１３年1月１９日（土）
１０：００～１６：００
会場：アクロスあらかわ
参加者：２８名

≪講座内容≫

講座Ⅰ　「傾聴」
ＮＰＯ法人Ｐ．Ｌ．Ａ．生木ヨシミ氏
講座Ⅱ　「子どもの発達」
荒川区立第２東日暮里保育園園長
西内美佐恵氏
講座Ⅲ　「家族支援」
ＮＰＯ法人たまごの会代表
加藤幸子氏

平成 24 年度財団法人こども未来財団子育て支援者向け研修事業

おもちゃ図書館ボランティア地区研修会報告

主催：財団法人こども未来財団・おもちゃの図書館全国連絡会

中国四国地区

日時：平成25年1月27日（日）10時～15時　　≪参加者　118名≫

会場：西条市総合福祉センター

☆（財）日本おもちゃ図書館財団と共催のおもちゃ広場も同時開催☆

講座Ⅰ「おもちゃ図書館の歴史と意義」講師：元全国社会福祉協議会全国ボランティア活動振興センター副所長　鈴木廣子氏
講座Ⅱ「ボランティア論」講師：東京ボランティア・市民活動センター　安藤雄太氏
講座Ⅲ「おもちゃと遊び」講師：東洋大学ライフデザイン学部人間環境デザイン学科教授　繁成剛氏
講座Ⅳ「障害のある子どもの発達と遊び」講師：おもちゃの図書館全国連絡会世話人副代表　峯島紀子氏

愛媛・西条の地で開催され、中国・四国地区の各地から多くの会員及び一般の皆さんに参加していただきました。　地方では研修の機会が少なく、お話をお聞きするチャンスがない講師の先生方の、貴重な講演を受講する事ができ、本当に有意義な研修会でした。「おもちゃの広場」では、手作りおもちゃの展示等を通して、県内のおもちゃ図書館の皆さんとの交流と情報交換ができました。何よりも良かった事は、地域の中で一「おもちゃ図書館」一の活動を理解して頂くきっかけになったことです。また、ボランティア連絡協議会の皆さんのご支援とご協力を頂き、ボランティアの大きな輪が広がりました。

（西条おもちゃ図書館ぽけっと　高橋伊都子）

講座Ⅱ：ボランティア論　安藤雄太氏

☆おもちゃ広場☆

主催：日本おもちゃ図書館財団・おもちゃの図書館全国連絡会

子供未来とうきょうメッセ

2013 年 1 月 26 日(土)
東京国際フォーラム

当日は６０００人を超える来場者で、おもちゃ図書館のブースも大盛況でした。親御さんからは「おもちゃ図書館はどこにあるのですか？」という質問が多く寄せられました。今後は東京のおもちゃ図書館の場所を掲載したリーフレットを作成し、配布できたらと思っております。終了後は他の団体との交流会が開かれ、おもちゃ図書館の活動とアジア会議のことを知っていただく良い機会になりました。（おもちゃ図書館あそびむし　安達恵）

子育て応援とうきょう会議
主催のイベントです！

Happy share party 2

2013 年 2 月 13 日(水)
三重県川越町

三重県三重郡川越町社会福祉協議会で実施された「happy share party 2」において「おもちゃ広場」を開催しました。未就園児を子育てしているママさんを中心とした方を主な対象に、ママさん同士のつながりづくりのきっかけとすることを目的に開催されたイベントです。当日は、前夜の雪もなく良い天気に恵まれ、多くの親子が参加していました。ママさん同士は広い会場の思い思いの場所でおしゃべり。その横で子どもたちはママの手元を離れて「おもちゃ広場」でお遊び。子育て支援ボランティアの方々も加わって子どもはおもちゃで夢中で遊んでいました。ママさんたちはボランティアさんと楽しそうにおもちゃで遊ぶ子どもを横目で見ながらママさん話に花を咲かせたり、子どもとおもちゃで一緒に遊んで歓声をあげたりとそれぞれのスタイルで楽しんでいました。今回の「おもちゃ広場」ではママさん同士のつながりのお手伝いをさせていただくとともに子どもたちも楽しい一日になったと思います。（菰野おもちゃ図書館はっぴー　近藤恭弘）

☆ミニ学習会報告☆

笑顔をつなぐおもちゃ図書館　　**2013年2月28日(木) 高島市やすらぎ荘**

ニコニコクラブおもちゃ図書館・きらきらクラブおもちゃ図書館・おもちゃ図書館どろんこ

活動を17年続けられたという松山明子さん（新居浜市おもちゃ図書館きしゃポッポ代表）は、にこやかに「子どもたちが幸せだったらいいな。子どもたちが笑顔でいるために、障がいのある子も、元気な子も大切に、ボランティアさんが得意な事を無理せず続けて下さいね。」と話して下さいました。おもちゃ図書館を利用されるお母さん方は、おもちゃが汚れたり、壊れたら悪いと遠慮されるけど、汚れたら洗えば良いし、壊れたらもう一つ作ればいいですよね、と子どもたちに温かく接しておられるお話がとても印象的でした。実技研修では、牛乳パックの小物入れや、さかなつり用のさかなづくりを教えていただき、楽しく研修させて頂きました。完成したさかなは、東北の子どもたちへ届けられます。手作りおもちゃのヒントは広告の中にたくさんあります。そして遊んでいる子どもたちから学んで下さいと日々工夫されているお話を伺い、良い学びとなりました。ありがとうございました。（きらきらクラブおもちゃ図書館　川崎啓子）

☆どうぞよろしく！新入会員の紹介☆

NO. 708　城東区おもちゃ図書館トライアングル(大阪市城東区)

「トライアングル」は、発達に遅れのあるお子さんやその兄弟姉妹が、地域で安心して遊ぶ事のできる場所を作ろうという趣旨のもと、大阪市城東区社会福祉協議会の協力を得て、平成11年9月にボランティアグループとして発足しました。発達に遅れのある子供の母親が、中心となって運営を行っています。

活動日の第1土曜日と第2土曜日は、主に音楽療法を取り入れた”リズムあそび”をメインとした活動を行い、夏はプール遊びに、冬はクリスマス会など、お子さん一人一人の興味に合わせ、楽器やおもちゃを通じて、心と身体の発達をうながしながら、遊びのルールや人間関係を養う、そんな遊び場を目指しています！

NO. 709　芦屋おもちゃ図書館グーチョキパー(兵庫県芦屋市)

平成２４年４月に、障がいのある子どももない子どもも、おもちゃでともに遊び交流し育ちあうように設立しました。地域の乳幼児や児童が保護者とともに、布おもちゃや本で遊ぶ場として、保健センターで毎月２回開催しています。好きなおもちゃを選んで自由に遊び閉館前に片づけを済ませた後、保育士資格を持つスタッフが、読み聞かせをしています。家でも楽しく遊べるよう、おもちゃの貸し出しも行っています。手作り布おもちゃの普及を願い、グーチョキパー通信で作り方をお知らせしています。クリスマス会では、人形劇、紙芝居、布おもちゃ遊びをし、多くの参加を得ました。これからも、地域の絆をふかめられるよう活動をしていきたいと思います。

特集

ボランティアさん紹介　Part2
～男性ボランティアさんの不思議な魅力～

昨年度 107 号では各地のおもちゃ図書館で活躍するボランティアさんをご紹介しました。「おもちゃ図書館のボランティアさん」といっても、その活動やかかわり方は 100 人いれば１００通り、本当に様々です。今回は、そんな全国のおもちゃ図書館のボランティアさんの中でも「なぜか子どもに人気の男性ボランティアさん」をご紹介させていただきます。子どもたちはどんなところにその魅力を感じているのでしょうか・・・！？

≪コメントの内容≫
① おもちゃ図書館のボランティアをはじめたきっかけ
② おもちゃ図書館のボランティア活動を通じて感じたこと
③ おもちゃ図書館の仲間から一言

高村俊輝さん

名古屋中村おもちゃ図書館（愛知）

①自分が赤ちゃんの時に、自宅で父親がおもちゃ図書館を開いた。その影響でおもちゃ遊びの重要性を実感してきた。学生の時に友達と発達障害児を支援するＮＰＯ法人を起こし、そこでもおもちゃを活用している。父親が大学院に入学し忙しくなったので、その補助としてかかわることになった。NPO の仲間も時々手伝いをしてくれる。
②おもちゃを媒介として、子どもたちとの間に温かな気持ちが通い合うと感じる喜びは他では得られないものである。もっともっと優れたおもちゃを発掘して紹介していきたい。
③ボランティアが高齢化してきている中、若い人の力が必要となっている。力仕事や女性とは違った手作りおもちゃの指導など男性ならではのかかわりを期待しています。（高村豊さんより）

岡本晃さん

豊平区おもちゃランド（北海道）

①丸谷一郎（古川おもちゃ図書館。ワイフの妹の夫）の勧めによる。
②入会時、メンバーは全員女性でしたが何の違和感もなく、ここがホームグラウンドになるのだと思いました。しばらくして、新人男性登場。訪れる親子の笑顔にいやされ、生きがいをたくさんもらっています。札幌市では嶋田修さん（厚別おもちゃ図書館代表）が男性ボラのさきがけ、私は２人目かな？現在は各館に男性ボランティアが増えています。
③メンバー全員女性のところへある日男性が一人入会、子どもの扱いがとっても上手でびっくり、次に入会の男性もこれまた子ども好きで二度びっくり。二人とも利用者の人気ものです。今は代表として大活躍中。感謝感謝です！（稲葉敬子さんより）

丸谷一郎さん

古川おもちゃ図書館（宮城）

りんご狩りにて祐貴くんと→

①東京で開催された「国際会議」に参加したことがきっかけです。おもちゃを通していろいろな人々友達になれると思えたら、是非やってみようと思いました。
②多くの友達ができて、多くの笑顔に出会えました。私と一緒で笑顔になってくれる子供たち。　その子供たちと遊ぶことによって笑顔になる「私」。このことがおもちゃ図書館の魅力だと思います。これからも多くの笑顔に出会えることを楽しみに続けられたら…と思っています。
③丸さん、会いたいです。丸さんがおもちゃ図書館に顔を出すと、息子はぱっと満面の笑顔になります。仲間に言わせると、私も急に笑顔になるそうです（笑）
３才～16 才まで、ずっと一緒にあそんでくれてありがとう。これからもずっと見守っていてネ・・
（ひかりおもちゃ図書館　中村祐貴くんとお母様より）

長山智幸さん

浦和トイライブラリー
おもちゃ箱　（埼玉）

①体を動かして、身をもって誰かの役に立てるボランティアを出来る場所を探していました。その中で、広く一般の人を対象とした、地域の「ボランティア体験」で募集されていたおもちゃ図書館が目に留まり、体験ということで参加のしやすさを感じ、応募したことがきっかけです。
②日常生活では接する機会の少ない、様々な人たちと楽しい時間を過ごすことができ、また考えさせられることや発見も多いので、おもちゃ図書館での活動はとても貴重で、成長できる時間だと思っています。また、参加を重ねることで参加者のみんなも自分も、お互いの人柄に少しずつ慣れてきて、おもちゃ図書館に行った時、「長山さん、こんにちは！」「〇〇さん、こんにちは！」と、笑顔で挨拶しあえるのがすごく嬉しく感じています。
③長山さんはどなたとでもすぐに仲良くなれる方で、しかもテンポが速すぎず遅すぎずちょうど良いのです。一人ひとりの話をゆっくり聞いて下さるので、皆さんからの信頼も厚いです。若さと、落ち着きのある所が魅力。（小泉康代さんより）

坂本精一さん

代田おもちゃライブラリー
（東京）

①バザーの手伝い、おもちゃの修理
②毎週来る子どもの成長に驚かされます。赤ちゃん、幼児、子どもとジャンプしています。朝来るとおもちゃに一目散。でも帰りは大変、高い高いやぐるぐる回し、２～３人抱えて回ることも。目が回ります。そしてタッチでお帰り。
世田谷区のお祭りにも参加、体育の日前日の雑居まつり、バザー、遊びのコーナーでの輪投げ、ストラックアウト。12 月のふれあいフェスタでの移動ライブラリーでプレイコーナーを担当、目玉はボールプール。毎年楽しみにしている子どもが来ます。
③優しい坂本さんと子どもたちの輪の中には、いつもほのぼのとした暖かさが漂っています。又、地域で毎年開催される雑居まつりでは実行委員として準備に夜遅くまで参加され、今では代田おもちゃライブラリーの大黒柱です。
（清水洽子さんより）

【寄稿】　男性ボランティアさんの魅力

戸田市おもちゃ図書館びっくりばこ　事務局世話人
元ボランティアセンター　ボランティアコーディネーター
青塚　和子

小さなこどもにとって、身近な大人の男性（父親、祖父、両親の男兄弟・・・）は、どのように見えて（感じて）いるのでしょうか。ボランティア活動する男性（若くはない方）が増える中、託児ボランティアのお願いが多くなってきましたが、男性の顔を見たとたん泣き出されてしまう事が多い事等々でお願いをしていませんでした。しかし、困って思い切ってお願いをしてみた所、人気者になってしまいました。

ある時、町中で自転車の後ろに乗っていた子ども（女児）が、すれ違った男性と声を掛け合い、お母さんがびっくり。「託児ボランティアをしました」と話し、笑顔になった。と聞きその微笑ましい光景に、ほのぼのとした空気を感じ、こんな町中であってほしいなと思いました。次ぎから次に積まれて行くつみき、とうとう子どもの背丈では積めなくなると、抱っこし、肩車して高く大きくなり、喜びも大きくなりました。肩車はやっぱり男性の出番でした。男の子の遊びもやっぱり、男性がするほうが、迫力がありました。

子どもにとって、老若男女が周りにいて、育つのが一番良いのではないだろうかと、誰もが感じることではないでしょうか。核家族が多い現代に、ボランティアからその魅力を子どもたちに体験してもらいたい、仕事ではないボランティア活動は、男性にとっては未知の楽しい世界になるとも思っています。子どもも同様で、女性ボランティアにはない楽しさが広がるのではないでしょうか。

福島にて　ここでも男性ボラさん大人気

～東日本大震災　支援活動プロジェクト～

さくら通りだより　　第13号　2013/3/22 発行

おもちゃ図書館　仲間の皆様へ

おもちゃの図書館全国連絡会

2011 年３月 11 日の大震災から２年が過ぎました。この２年間、全国の皆さんから寄せられた支援金や手作りおもちゃ、そして何よりも皆様の温かいお気持ちを、被災された皆様に無事お届けできるよう支援活動を継続してきました。移動おもちゃ図書館の中で出会った子ども達の笑顔を忘れることなく、今後もおもちゃを通じて、楽しい遊びの場を届けられるよう活動を続けていきたいと思います。２年が過ぎても、被災した地域の復興はまだまだここから。私たち一人一人にできることを、たとえ小さくても続けていくことが大切なのではと改めて感じます。今後も支援活動へのご協力よろしくお願いいたします。

１　支援金・助成金の報告

＊皆様からの緊急支援金　３月２２日現在　　２５４件　　3,574,986 円

（このうち 24 年度分　２１件　317,286 円）

＊共同募金会から　3,000,000 円の助成金

２　活動報告

☆福島市での移動おもちゃ図書館

１月 30 日（水）福島県立聾学校平分校（いわき市）

２月 13 日（水）東浜保育所・福島県立聾学校福島分校（福島市）

☆南三陸町での移動おもちゃ図書館

２月 24 日（日）福興市参加

東浜保育所にて

東浜保育所「ばいば～い」「また来てね」

聾学校福島分校では１年を振り返っての交流会！

３　今後の活動について

☆３月 31 日（日）　南三陸町福興市にて移動おもちゃ図書館実施予定

お願い

おもちゃの図書館全国連絡会では、皆様からの震災支援金を引き続き募集しています。宮城県、福島県での継続した活動にむけ、まだまだ活動資金が必要です。つきましては、当活動へのご支援をいただきたくお願い申し上げます。

【震災支援金の口座】

三菱東京 UFJ 銀行　築地支店

（口座番号）　００７７７３５

（口座名）

おもちゃの図書館全国連絡会

代表　小泉康代　災害支援口

≪東日本大震災緊急支援金をいただきました≫　順不同・敬称略

あらっこなび　　匿名

≪支援用として手作りおもちゃを寄贈していただきました≫　順不同・敬称略

佐倉おもちゃ図書館　　よこはま布えほんぐるーぷ　　てのひらの会

（2013 年 3 月 22 日現在）

東浜保育所のお子さんからかわいお便りもいただきました→

≪今年度をふりかえって≫

～笑顔をつなぐおもちゃ図書館～のテーマのもと、人と人とを笑顔でつなぐおもちゃ図書館活動を続けてきた今年度もいよいよ終ろうとしています。

東日本大震災から早くも２年が過ぎ、まだまだ目に見える復興はわずかですが、被災地には少しずつ変化も見られています。おもちゃの図書館全国連絡会では、今年度も皆様のご支援、ご協力のもと支援活動に取り組んで来ました。南三陸と福島への移動おもちゃ図書館に、より子ども達に笑顔を届ける、そして子ども達の笑顔が大人たちを元気にする・・・時間とともに変化するニーズに合わせ、被災地の方々の気持に寄り添う支援を今後も続けて行きたいと思います。

今年度の研修会は、北海道・東北・近畿・中四国・九州沖縄の５地区で開催され、さらにおもちゃの図書館ボランティアの集い、全国ボランティアフェスティバルみえの開催等、笑顔と笑顔をつなぎながら有意義な学びと交流の機会を持つことが出来ました。それぞれの会議を担当して下さった方々のご努力とご協力に心から感謝申し上げます。

おもちゃ図書館活動のリーダーを目指す「ＴＯＹらいぶらりあん」養成講座も軌道にのり、おもちゃの図書館全国連絡会設立３０年を記念する、第４回おもちゃの図書館アジア会議の準備も進んでいます。全国連絡会のこれまでの活動の成果、蓄積を大切にしながら、子ども達の笑顔をつなぐため、皆様とご一緒になお一層励んで行きたいと思います。

おもちゃの図書館全国連絡会世話人副代表
峯島紀子

聞いて・聴いて！相談員コーナー

相談日：毎週木曜日
時　間：午後１時～５時
相談員：松原ミチ・岸節子
TEL:０３-３２７２-００７２

２０１１年３月１１日の東日本の大震災における未曾有の大津波や原発事故から早２年が経ちました。マスコミでは南海トラフ地震対策・被害想定など報道されている中、あの大震災が人々の心から遠くなりかけて、被災地でのボランティアの数は少なくなっております。それでもおもちゃの図書館ボランティア・関係者の方々の絆は深く、心強く感じております。

今年も何件か「おもちゃ図書館を開設したい」との相談がありました。おもちゃ図書館を通して、地域の人びとの交流や情報交換を図り、被災を乗り越えて生きる子どもたちの姿や輝く笑顔へのお手伝いができるおもちや図書館ボランティアに優しい愛を感じております。

おもちゃに関するお問い合わせも多く、開館の時どんなおもちゃを準備したら良いか、おもちゃ名・メーカー・金額・購入方法などのリストアップの依頼もありました。

１年間の相談内容　（３月７日現在）
＊所在地の問い合わせ　多数　　＊資料送付　３４件　　＊設立関係相談　１４件
＊その他問い合わせ　４０
問い合わせ内容としては・・・
＊助成金についての相談
＊おもちゃについての相談（個人的に、またおもちゃ図書館として）
＊おもちゃ広場の開催について
＊おもちゃを寄附することについて
＊被災地支援について
＊各種取材について

（相談員　松原ミチ　岸節子）

参加者募集中

インフォメーション

【おもちゃの図書館全国連絡会設立30周年記念】

第4回　おもちゃの図書館アジア会議　　あそびは生きる力

会議日程　　平成 25 年 6 月 13 日（木）～15 日（土）
開催場所　　国立オリンピック記念青少年総合センター
東京おもちゃショー２０１３、他
〒151-0052　東京都渋谷区代々木神園町 3 番 1 号
参加費　　３日間通し 10,000 円（おもちゃの図書館全国連絡会 会員 9,000 円）

日時・内容	金額	参加費用に含まれる物
6月13日（木） 講演・カントリーレポート	**1,500 円**	昼食代、資料代、同時通訳費用
6月13日（夕方） ウェルカムディナー	**5,000 円**	食事代、通訳費用
6月14日（金） スタディツアー	**3,500 円**	【コース1】海外参加者 バス代、昼食代、資料代 等 【コース2】 バス(リフト付)代、入場料、 昼食代、資料代 等
6月15日（土） 閉会式・ ワールドプレイデイ	**無料　　詳細は下記の通り**	

※ 介助者は半額となります。
※ 参加費は申込をしていただいてから請求書を送付しますので、5 月 20 日までにお振り込みください。
※ キャンセル料は
1 週間前まで　　50%
6 日前～当日　　全額

ワールド・プレイ・デイ

2013 年 6 月 15 日（土）11：00～14：30

会場 国立オリンピック記念青少年総合センター大体育館
〒151-0052　東京都渋谷区代々木神園町 3 番 1 号

「ワールド・プレイ・デイ」は、様々な世代の人々が、遊びやゲーム、伝承遊びやおもちゃ作りなどをし、みんなで「遊び」の大切さや意義を再認識しよう！！という日です。当日は楽しい遊びのブースやスタンプラリーもあり、誰でも参加できます。ぜひ、おもちゃ図書館のお子さんたちを誘って、皆さん遊びにきてください。

☆コーナープログラム
おもちゃで遊ぼう!　手作りおもちゃ･工作
伝承遊び　新聞紙で遊ぼう
体を動かして遊ぼう!　ほか
☆ステージコーナー
太鼓演奏　みんなで歌おう!
☆スタンプラリー

《ありがとうございます》

☆賛助会費をいただきました（敬称略･順不同）
おもちゃ図書館ピコ　香取市おもちゃ図書館どんぐり　子育て支援ボランティアコアラの会
西条おもちゃ図書館「ぽけっと」　おもちゃライブラリーＳＩＨＯ
保井五雄　鈴木玲子　澤田妙子　山下和子　大貫輝子　南里恵美子
☆寄付金をいただきました（敬称略･順不同）
峯島紀子　清水洽子　青塚和子

＜編集後記＞

この冬は寒さが大変厳しく、大雪による様々な被害が次々に伝えられました。自然の脅威を今年もまた改めて感じました。そんな厳しい冬が過ぎ、東京では、なんと例年より 10 日以上も早く 3 月中旬に桜が開花しました！ちょっとまわりを見渡しても、庭先に、公園に、そして通勤途中の道端にといろいろな花があっという間に姿を現しています。卒業、卒園、そして入学、進級と周囲の話題も一気に春めいてきました。そんな春を迎えるにあたって、一方で震災から 2 年過ぎ、まだまだ地域の復興や、生活の再建等、先が見えずにご苦労を重ねていらっしゃる方も多いことを忘れずにいたいと思います。移動おもちゃ図書館で出会ったお子さん達のまっすぐな瞳に負けないよう、また 1 年頑張りたいと思います。今年度も一年間、おもちゃ図書館活動にそして全国連絡会に、多くのご支援、ご協力をいただきありがとうございました。（隅田・岸・安達・藤井）